

武蔵野銀行行田支店

国道125号線と新町通りとの交差点に面した行田4-15に位置する武蔵野銀行行田支店の店舗は、市内中心部に位置する市の顔ともいえる近代化遺産で、平成17年11月10日に国登録有形文化財に登録されています。

この建物は、明治30年（1897）に忍商業銀行（現在の埼玉りそな銀行）の子会社として創業した忍貯金銀行の店舗として昭和8年（1933）10月5日に起工され、昭和9年（1934）6月18日に竣工しています。彫りの深い近代復興式の鉄筋コンクリート造2階建ての本格的銀行建築で、外壁は建設当時流行していたスクラッチタイル貼りとなっています。正面は左右対称形ですが、側面は北西から寒風が吹く行田の気候・風土を反映して西側の窓が極端に少なくなっています。本格的な歯飾りの軒蛇腹、軒下・腰壁・窓廻りの繊細な装飾、窓上のレリーフの入った円形の羽目板などが特徴的です。

設計・施工は株式会社小川組（現在の株式会社小川建設）です。同社は忍商業銀行行田本店の店舗（かつての埼玉銀行行田支店店舗）など昭和6年以降忍商業銀行の店舗建設を数多く手がけており、そうした経緯から子会社の忍貯金銀行の設計・施工も行ったようです。そのため、小川組施工の忍商業銀行の店舗と構造やデザインに共通性が見られます。

忍貯金銀行は、戦時中の金融統制で昭和19年（1944）に埼玉銀行に合併され、不要となったこの建物を行田足袋元売販売株式

会社を買収しました。終戦後この建物は足袋会館（足袋組合の会館）となり、昭和21年（1946）には昭和天皇が埼玉県巡幸の際に立ち寄られています。また、昭和22年（1947）創立の忍商工会議所（現在の行田商工会議所）の事務所が、創立時から置かれていました。その後、昭和44年（1969）に武蔵野銀行に売却され、行田支店となって現在に至っています。

このように、この建物は幾度も用途・所有者が替わりましたが、常に行田の足袋産業と深い関わりを持ち、行田市中心市街地のランドマークとして今も市民に親しまれています。（文化財保護課 中島洋二）



武蔵野銀行行田支店

★ キラリ 元気 ★ No.81

かぼちゃはビタミンエース（A・C・E）が豊富な健康野菜。老化や風邪、生活習慣病の予防に効果があるいろいろなビタミンを多く含んでいます。中でも、体内でビタミンAに変わるカロテンは、皮膚や粘膜の抵抗力を高める働きが期待できます。かぼちゃ 100g で、1日に取りたいビタミンAの半分の量を摂取することができます。

材料（2人分）

かぼちゃ…200g 赤唐辛子…1/2本 ごま油…大さじ1/2
A【だし汁…大さじ3 しょう油…小さじ2 砂糖…小さじ1】

作り方

- ①かぼちゃは種とわたを取り除き、5～6mmの厚さの食べやすい大きさに切る。
- ②赤唐辛子は粗くちぎって種を取り除く。
- ③フライパンにごま油と②の赤唐辛子を入れて火にかけ、①のかぼちゃを加えて中火でいためる。Aを加え、煮崩れしないようにときどき混ぜながら、汁気がなくなるまで煮る。

… ピリ辛味がアクセント …

かぼちゃのきんぴら



栄養成分（1人分）

エネルギー 128kcal たんぱく質 2.4g 脂質 3.3g
炭水化物 22.8g 食塩相当量 0.9g ビタミンA 330μg

(社) 埼玉県栄養士会 行田・羽生の会

今月の表紙

ゼリーフライとフライのイメージキャラクター「こぜにちゃん」と「フラベえ」の着ぐるみが完成し、11月3日の市制施行60周年・文化の日記念式典で初披露されました。早速11月8日の第2回行田市B級グルメ大会に登場すると、子供たちの人気の的。埼玉の魅力やPRする県のゆる玉応援団にも入団し、今後の活躍に目が離せません。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています